

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)4月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

交通事故、ローヌ県で増加

今年1月から3月までの交通事故による死亡者の数は9人と、2013年始めの3人と比べて増加している。9人のうち4人が二輪車(スクーター、オートバイ)に乗っていた。事故数(+105)負傷者数(+112)入院する負傷者数(+23)ともにすべて増加。速度超過で車の制御不能となること、二輪車(自転車を含む)のヘルメット非着用、赤信号無視など、規則不履行や運転態度が事故の主な理由である。また、30歳以下の若者の数が、全体の3分の1を占め、事故の被害者平均年齢は42歳とのこと。気候が良くなり外出も増えるこの時期、車道では一層慎重になりたい。

車上狙い多発、工事業者の車も標的に。

街中での車上狙いや、排気筒やアンテナの盗難も話題になっているが、最近では工事道具を積載した業者の車が狙われて、昼休みや夜間に窓を割って、車内にある溶接機やドリル、回転式鋸などを盗んでいくパターンが多発して、2014年第一四半期で47件の被害届がでていたとのこと。

偽公認会計士に注意

公認会計士協会では、2013年に92件の偽会計士による被害が届け出されており、2014年にも増加する可能性があるとして注意を呼び掛けている。企業などの会計コンサルティングや監査などとうたって、正式な公認会計士としての資格を持たず、公認会計士協会への登録も無いまま高い料金を請求し、実際には内容をごまかして財務諸表を作成したり、客に虚偽の決算報告や脱税行為で粉飾決算を申告させたりするとのこと。最悪の場合には破産などにおいこまれることもあり得る。個人事業者などで会計報告のために会計士を探す場合には、公認会計士協会などに問い合わせ、正式な資格をもっているかどうかを確認したい。

ローヌアルプ州公認会計士協会 <http://www.rhonealpes.experts-comptables.fr/>

2. 邦人の被害事例

短期旅行中の邦人男性が、電車内座席の上の網棚に置いていた手荷物を盗まれる事件が連続して発生した。いずれも、目的地までの途中の停車駅で一時停車中、犯人が持ち主に気付かれないうちに荷物を持って、発車直前に下車して逃げてしまうというパターンだった。窃盗犯は駅構内や電車内で、隙がある人や貴重品を入れた上着や荷物を持ったままでも居眠りする人などを狙っている可能性が高いので、電車を利用する際には、駅構内、ホーム、電車内いずれも十分注意する必要がある。

3.地区別 治安情報集計結果

2014年4月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	ISERE県	LOIRE県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)						2	1						1			1	5
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	1	4	2		1	2	7	2		2	3	4	4			1	33
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	3	1	11	3	3	1	3	3	1	11	2	1	1	1	3		48
知能犯 (詐欺、横領等)			3				1			4		1					9
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)	2		1	1	1		2	3	2	6		1	2			1	22
合計	6	5	17	4	5	5	14	8	3	23	5	7	8	1	3	3	117

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より抜粋）

① 窃盗犯罪事件

4月1日午後、Villeurbanne 市で、私服警察を装う31歳の男が、オートバイを運転していた男性から、車両点検だと言ってバイクを盗んだ。その後男は盗んだバイクで事故を起こし死亡した。

4月2日、イゼール県 Crémieu 市内の一軒家2軒に空き巣が入り、宝石やパソコン、現金などを盗み出していた2人の容疑者が逮捕された。この2人はフランス南西部の警察からリヨンの警察に侵入窃盗の準備をしている容疑者がいるとしてあらかじめ連絡が入っていたために、現地の警察が尾行をしていたところだった。

4月2日午後6時頃、リヨン市第5区 Loyasse 坂で20歳の女性に暴力を振るいカバンを盗もうとした14歳から18歳の4人組の若者が逮捕された。女性のカバンは取られずに済んだが、同時に持っていた携帯パソコンを取られてしまったとのこと。

4月4日、リヨン市第3区 Saxe 大通りにある建物の玄関ホールでエレベーターを待っていた30歳の女性が、後を付けてホールに入って来た男にカバンをひったくられた。

4月5日と6日には、リヨン市内で未成年(16歳~17歳)によるひったくりや窃盗事件が続発、いずれも携帯電話や財布、また空き巣に入って宝石や現金を盗んだもの、車を盗もうとして逮捕された2人組もいた。

4月6日リヨン市第8区 Laennec 通りにある解剖博物館で、午後10時から午前0時までの間行われた小説祭り関連事業の際、フランス全国で軽犯罪を重ねて警察に知られている50歳の男が、偽のプレスカードを見せながら入場し、ホルマリンに浸かった胎児の瓶を盗み出した。開館後15分で急いで出て行ったために、関係者がすぐに怪しいと思ったとの事。翌朝男の住んでいるガレージでこの男は逮捕されたが、ただ記念に持ち帰ったと供述したらしい。

4月6日夜、リヨン市第3区 Arsonval 広場で、警察官から尋問を受けた17歳の未成年が宝石を幾つか所持していたため更なる取り調べが行われ、前夜 Montchat 地区で空き巣に侵入して盗み出してきたものと自供したために逮捕された。

4月8日正午頃、Rillieux-La-Pape 市でグルジア国籍の3人組の男が逮捕された。彼らは黒装束で、駐車してある車の内部の物を盗もうと物色していたところを、通りかかった警察官が尋問した。また、宝石や現金、パソコンなどを自分達の車内に所持しており、その直前に同地区の一軒家で空き巣に入られた家から持ち出されたものだった。

4月10日午前1時半頃、リヨン市第7区 Felix Faure 大通りにある会社事務所に侵入して、3台のパソコンなどを運び出そうとしていた21歳の男が、パトロールしていた警察に逮捕された。

4月12日、Bron 市にあるデパート Galeries Lafayette で、89歳の男性からクレジットカードを盗もうとした男3人組が、デパートの警備員につかまえられた。この男達は、男性がカードで買い物するところを執拗に見入って男性の暗証番号を覚え、そのあと軽くぶつかって男性からカードを盗もうとしたとのこと。

4月12日、リヨン市第2区 République 通りで、30歳のリヨン大学法学部の学生が、少年2人に暴行して携帯電話を奪い取った。SMSを送るためだと言って話しかけて襲い掛かり、少年の1人は手術を要する全治10日以上以上の怪我を負わされた。

4月12日真夜中、リヨン市第8区 Frère Lumière 通りにあるピザレストランに、車が突っ込み衝突して、店内の金庫を奪い取って逃亡した。現在調査中。

4月13日朝、アン県 Jasseron 村で Bresse 鶏を飼育している農家で、夜中に何者かが敷地内に入り込み、30羽の Bresse 鶏をその場で絞めて持ち去られた。この農家では、昨年にも3月に250羽、11月に120羽も盗まれているとの事。

4月14日、リヨン市第3区の老夫妻宅で、4月初めから派遣会社から送られて家事手伝いの仕事をしてきた23歳の若い女が、老夫婦の自宅内から150,000€相当の宝石貴金属を盗み出してため逮捕された。この女は10日ほど働いたが、老夫婦の娘がその仕事ぶりに不満だったために派遣会社に連絡して人を替えることになり、最終日に老夫婦宅のタンスの中などにあった貴重品を盗み出したとの事。その被害にすぐに気付いた老夫婦の娘が警察に被害届を出し、警察が女の自宅を家宅調査したところ、プレスレット一つ以外、盗難品の全てが発見された。

4月15日、昨年8月から Villeurbanne 市にある Alstom 社で働いている臨時職員が社内で購入していたハードディスクを横領し、それを転売して自分の借金の返済にあてていたことが判明して、この臨時職員とその共犯者(ネット上で転売したり自分の店で転売したりした男)が逮捕された。

4月16日午後9時頃、イゼール県 Echirolles 市で車上狙いをしていた29歳の男と28歳の女が警察に逮捕されたが、このあと、同じ Echirolles 市内にあるマクドナルドから、4歳と6歳の子供が迷子になって保護者がいないとのことで連絡があったために調べられたところ、この子供たちは28歳の女の子だったことが判明した。女は盗難と未成年放置で後日裁判所に召喚されているが、この女がいつも同じように子供たちを放置していたかどうか調査されている。

4月17日午後、リヨン市第7区 Teppaz 通りにある自分達のアパートに男女カップルが帰宅したところ、空き巣犯が鍵のシリンダーを壊して侵入し内部を物色していたため、2人は犯人に飛び掛かって抑え込んだ。犯人はドライバーを振り回して逃げようとしたが、2人がすぐに警察に通報したためにその直後に逮捕された。

4月18日、イゼール県北部の高速道路 A43 線で、スイスナンバーの Peugeot 208 GTI が中央分離帯にぶつかり別の車に衝突したあとひっくり返って止まった。目撃者が助けようと駆けつけたところ、この車の運転手は逃亡して林の中に消えた。警察が調べたところ、この車はスイスのジュネーヴで盗難にあっていた車だったため、現在も逃亡犯の調査が続けられている。

4月18日午前4時頃、リヨン市第1区で若い男性が4人組の男達に暴行され、携帯電話を盗まれた。この17歳から35歳の4人組はその後逮捕されたが、他にも他人の身分証明書や小切手などを所持していたとのこと。

4月18日午前6時近く、18歳の若者がリヨン市第8区 Marius Berliet 通りにある警察のスポーツセンタージムに空き巣に入って、バーベルなどを盗み出そうとしていたところ、ちょうどジムに来た警察官に見つかり逮捕された。

4月20日午後6時半頃、Villeurbanne市Tonkin地区の小学校内で16歳の少年3人組と11歳から12歳の3人が警察に呼び止められた。警察の話によると、この少年達は小学校の校長の部屋に侵入してコンピューターのモニターなどを盗み出していたとの事。

4月22日午後9時頃、Villeurbanne市Stalingrad通りでパトロールしていた警察が、通りにあるオフィスに侵入しようとしていた16歳の2人組少年をつかまえ、身柄を拘束した。

4月22日午後11時頃、Villeurbanne市1^{er} mars 1789通りで車上狙いをしていて窓ガラスで手を切った若者が警察に保護された。

4月23日午後10時半頃、リヨン市第3区Part-Dieu地区にあるホテルで、警備員を装いホテル内に入り、客室に侵入しようとしていた男が、不審に思ったホテルの職員に話しかけられたために逃走した。その後この男はEugène Deruelle大通りで逮捕されたが、同日にl'Abondance通りにある他のホテルで同様に侵入し、客室からタブレット型パソコンなどを盗み出していたことが判明した。

4月23日、リヨン市第3区在住の82歳男性宅に、隣の店の職員と名乗る男が現れ、前日その店で男性が買い物をした際の支払手続きが上手くいかなかったために、再度カードで支払いをしてほしいと言ってカード支払端末のようなものを取り出し、男性のクレジットカードを入れて暗証番号を押させた。その途端、この男は逃亡したとのことで、現在取り調べが進められているとの事。

4月23日、リヨン市第3区にあるレジデンスホテル内で、夜間警備員が宿泊客の部屋のドアをノックし、ホテル内に泥棒が侵入しているのでそのまま避難するように言った。この偽警備員は、客のいない間に部屋の内部にあったパソコンや電話などの貴重品を盗んで逃亡していた。この男はその後同じ地域にある他のレジデンスホテルに侵入したが、以前にも侵入歴があり男を見たことのあるこのホテルの夜間警備員が気付いて捕まえ、警察に通報した。男の自宅には、ホテルの中庭から盗まれていた高級自転車(一台2000€相当)が発見され、取り調べで今年の1月から同じ罪を10回以上繰り返していたことが判明した。

4月23日早朝、リヨン市第7区Gabriel Péri広場で、若い男性が18歳のホームレスの2人組男に刃物で脅迫され、現金とクレジットカードを脅し取られた。街角に設置してあった監視カメラの映像から、この2人はすぐに身元が判明し翌日逮捕された。

4月27日、Villeurbanne市Florian通り在住の86歳と84歳の老夫婦宅に、3人の若者が取り調べ中の警察官だと偽って侵入し、夫婦の注意を引いている間に、アパート内部にあった現金数十ユーロを盗み出して逃亡したとのことで、現在調査が進められている。

② 粗暴犯罪事件

4月1日、リヨン市第7区の仮釈放センターで、200以上の前科をもつ32歳の男がセンターの布団に火をつけようとしていたところを保護観察所長が止めようとしたが、男から激しく殴られることとなった。

4月2日夜、Vénissieux市Minguettes地区では、その前夜ひたくりをして被害者に全治21日の怪我を負わせた2人組の未成年とその共犯者3人が逮捕されたが、逮捕の際にこの地区では、若者たちが警察や警察の車に対して物を投げる騒動となり、CRS保安機動隊が動員されて、午後9時前から10時まで緊迫した状態となった。

4月4日午後10時、Vaulx-en-Velin市Mas-du-Taureau地区では、オートバイが炎上していた為に警察と消防隊が駆けつけたところ、少人数のグループから石などを投げられて、警察官が軽傷を負った。

4月7日、Soucieu-en-Jarrest市で、42歳の男が、以前付き合っていた女性に硫酸をかけて顔や首、腕などに火傷を負わせた。女性はすぐに病院に運ばれた。

4月8日午後8時半頃、リヨン市第7区Yves Farges大通りで、TCLリヨン市交通の検札コントロール員3人が、バスチケットを持っていなかったために罰金を課せられたことに激怒した若者に襲われ、脅迫を受けた。

4月8日、リヨン市第8区にあるルミエール博物館で、写真講座を受講するために21歳の若者が建物の中庭を歩いていたところ、16歳の少年から若者が持っていたスケートボードを貸してくれと言われた。若者に断られた少年が気を悪くし、一緒にいた他の4人の友人と一緒に若者を殴り始めた。その場に居合わせた中年女性が仲介に入り喧嘩を終わらせたが、若者は頭部に全治10日の怪我を負った。その後3人の少年が警察に捕まえられたが、暴力に関しては否定しているとのこと。

4月9日、Caluire-et-Cuire市在住の15歳の若者が、自分の母親を殴り部屋に閉じ込めていたために、警察に逮捕された。

4月12日午前3時半頃、ロワール県からリヨン市に遊びに来た20歳の男が運転する車がタクシーに衝突した。事故のために警察が取り調べると、この男は2回運転筆記試験に失敗してそのまま無免許の状態であった。また、酒に酔っており、煙草の火を消すようにとの警察官の指示にも従わず反抗して警察官を侮辱したため、そのまま身柄拘束となった。

4月13日午前5時近く、リヨン市第7区Bons Enfants通りにあるクラブ«à KGB»から出てきた女性一人を含む若者4人組が、いきなり現れた男から暴行をうけてバールで殴られた。男は騒音に腹を立てていたと言う事だったが、その後一度乗って来た車に戻り、また同じ若者達を今度は刃物をもって暴行した後、車に乗って逃げて行ったとのこと。

4月14日、リヨン市第7区在住の39歳の男が、その前日妻を激しく殴って全治10日の怪我を負わせていたために逮捕された。

4月16日夜、覆面をした男がいきなりリヨン市第7区在住の若者宅に侵入し、暴力をふるい、貴重品を盗んで逃亡した。その容疑者はその後警察に逮捕され身柄拘束となった。

4月16日、Givors市にある運転免許センターで、試験が終わった後に試験官の背中をハンマーで殴って脅した22歳の男が逮捕された。この男はその前日にも脅迫発言をしていたらしいが、この日は、本来は後日郵送される試験結果をその場で教えるように試験官を脅して暴力を振るい、車も傷つけたために、試験場で逮捕された。

4月17日午前6時頃、Meyzieu市Europe通りの建物からごみを出そうとしていた2人の清掃職員が、いきなり暗闇から現れた男に刃物で刺された。この男は何も言わずにそのまま逃亡したため、理由などは良くわかっていない。2人の被害者は切り傷だけの軽傷ですんだが、1人は心臓近くをさされそうになったとのこと。

4月21日午前4時頃、Vaulx-en-Velin 市にあるスーパーCarrefour の横にある靴と洋服の店のショーウインドーに車が衝突し、犯人達は車の中に店内の靴などを積み込んで盗み出そうとした。通報を受けた警察がすぐに駆けつけたため、慌てた犯人達は車もそのままにして逃亡した。

4月21日午後、Vénissieux 市 Division Leclerc 大通りで、警察が空き巣容疑者を逮捕しようとしていたところに30人程の集団が警察に対して暴動を起こして投石した。敷石ぐらいの大きな石を頭めがけて投げられたという警察は、建物のホールに避難したため被害はなかったが、その際に暴動に参加した18歳の男は、その後日禁固6か月の有罪判決となった。

4月23日午前6時20分、リヨン市第7区 Gabriel Péri 広場で、2人組の男が若い男性を襲撃し、銃で脅迫して、現金とクレジットカードを奪い、その暗証番号を言わせたとの事。

4月23日夜、リヨン市第6区で19歳の若者が、10人組の少年から殴る蹴るなどの暴行を受け、煙草と携帯電話を奪い盗られた。逃亡した14歳から18歳のグループのうち、4人の容疑者が Général Sarrail 河岸で逮捕され、身柄拘束となった。

4月23日午後、Villeurbanne 市 Tonkin 地区で2台の車が接触事故を起こし、一方の車を運転していた暴力的な男が、もう一台に乗っていた男女カップルを追跡し刃物で脅迫し、男女の車を傷つけた。2人はすぐに被害届を警察に出したために、この18歳の男はその夜に逮捕された。この男は、運転免許証をもっておらず、45件の前科を持ち、車の中からは脅迫に使用した刃物が発見された。

4月27日午前3時半頃、ロワール県 Roanne 市で、煙草を渡すことを拒絶した若い男性を刃物で刺した23歳の男が逮捕された。この男の血中からは2.42gのアルコール度が検出されたとの事。

4月29日午前2時頃、リヨン市第6区 Vitton 通りで、帰宅途中の44歳と56歳の女性2人組が、2人の若い男に脅されて建物のホールに連れて行かれ、痴漢行為をされた。逃げるのに成功した女性たちが通報したため、直後に20歳代の男達は逮捕されたが、同様の前科をもっていたとのこと。

③ 凶悪犯罪事件

4月8日午後9時半、ロワール県 Saint Etienne 市在住の70歳の女性がガレージの中で刺殺されているところが発見された。女性の息子が発見したもので、女性の飼っていた犬も同様に無残に刺殺されていたとのこと。現在のところ理由などはわかっておらず、警察が取り調べている。

4月19日夜から20日にかけて、リヨン市郊外の Vaulx-en-Velin 市と Vénissieux 市では、数か所で車の放火事件が多発し、合計15台以上の車が炎上した。

4月24日午前0時頃、Ecully 市 Perollier 通りで、離婚裁判中の妻の車に放火した男が逮捕された。この男は家庭内暴力や交通違反などですでに何度も逮捕歴があったとのこと。

4月26日午後3時頃、リヨン市第6区にある高級ブティック LEGEND に銃をもった強盗が入り、店主を殴って床に張り倒し、店内で3回発砲したのち、高価な洋服や現金を奪って共犯者の運転する車(盗難車)に乗って逃走しようとした。ブティックの店主は店の外まで犯人を追いかけて殴り掛かって捕まえ、銃と洋服などを奪い取った。同時に騒動を聞き駆けつけた近辺の店の人達が共犯者に襲い掛かったため、この2人の犯人は車を置いたまま逃走した。

4月27日午後7時頃、リヨン市第7区 la Guillotière 大通りにある食品販売店に、催涙ガスを持った強盗が入り、レジの現金(70€)を奪って逃げようとした。しかし、催涙ガスを撒かれた店主はそれでも犯人を押さえつけ、警察が現れるまで犯人を捕まえていたとのこと。

4月29日、ローヌ県 Dareizé 市の小学校で、建物の火事及び破損事件が起こった。10歳から14歳の3人の少年達が消防隊に連絡したとのことで、少年達がすべての教室を破損し放火したのではないかとの容疑があるが、彼らは火災の煙で中毒症状をおこしていたため病院に運ばれた。この少年のうち2人は、この小学校出身だったとのこと。

④ 知能犯罪事件

4月16日、リヨン市第3区在住の25歳の男が、2012年に盗まれた盗難小切手帳を使って、自分の口座に19000€余りの金額を入金していたために逮捕された。

⑤ その他

4月1日午前中、Rillieux-La Pape 市で5歳の女児がさまよっているのを市警察が見かけて保護し、その女児の自宅を見つけ出して訪問したところ、自宅には泥酔状態の母親がいたが、不潔に荒廃した環境のアパートの内部で、5歳から14歳までの4人の子供と一緒に同居している悲惨な状況だったため、母親は身柄拘束となり、子供たちは保護された。

4月初め、リヨン市第5区にある学生寮付近で、1週間に渡って露出行為や痴漢行為をしていた疑いのある37歳の男が逮捕された。

4月6日、リヨン市第8区 Argonne 通りで大麻の密売をしていた16歳の未成年が警察に逮捕された。この少年は大麻樹脂60gを所持していたが、車の中には大麻草のはいったカバンのなかに、同じ大麻樹脂のバーが10本ほど隠してあった。

4月7日、Val de Saône 地方の覚醒剤密売組織が、憲兵隊約百名の一斉捜査によって解体された。この地域在住の11名の逮捕で、大麻樹脂1.5kg、コカイン70g、現金20000€、銃器などが没収された。警察によるとこの組織は数年前から覚醒剤密売をしていたとのこと。

4月8日と9日、Vénissieux 市 Lénine 大通りで、大麻密売の主格犯とその妻が逮捕された。数か月前から取り調べを進めてきた警察が、この21歳の若者と25歳の妻の自宅アパートに家宅捜査にはいったところ、家のガレージからは大麻樹脂19kg、大麻220g、現金5220€、手榴弾や迫撃砲型花火(警察に向けて投げるため)、などが没収された。またガレージにあった車Audi6を解体したところ、バンパーの中から現金65040€が見つかり、車のGPSの記録から何度もスペインに行っていたことが判明した。自宅の中からはルイヴィトンなどの各種高級品25000€相当や、地下倉庫からは銃や銃弾が発見された。

4月9日、リヨン市第9区にある運送業会社の屋内に、夜な夜な忍び込んでキッチンを使って料理し、会社の車を使ってドライブなどをしていた42歳のホームレスの男が逮捕された。この男は、何も破壊行為などはせず、キッチンも使った後は清掃し、使った車も元の位置に駐車してあったために、会社もすぐに気付かなかったが、車のガソリンが不当に減っているために疑惑をもった会社経営者が監視カメラを設置してこの男の存在が明らかになった。男は、免許停止になっていたにもかかわらず運転していたとのこと。

覚醒剤密売容疑で警察が数か月前からリヨン第9区在住の36歳の男を取り調べていたが、4月初めにコカインなどを所持しているところを現行犯で逮捕した。この男は一年ほど前からリヨ市内

のナイトクラブなどでコカインやエクスタシーなどを売り捌いていたらしく、自宅近くに駐車してあった車の中などから、コカインが3 kg、エクスタシー錠剤 9263 個などが発見され、その販売額は 120 000 €相当になるとのこと。この男の共犯者も同日逮捕された。

Bron 市でもまた、リヨン市近郊東部で覚醒剤密売をしていた 27 歳の男が逮捕された。男の自宅からは、ヘロインが 1.2 kg、大麻 910 g、コカイン 615 g、そして現金 10 500 €、自動小銃などが発見された。

4 月 20 日午後 6 時頃、Villeurbanne 市内を裸で歩いていた男を目撃した数人が警察に通報した為、その後男は自宅で逮捕された。酒に酔っていたとのこと。

4 月 25 日、リヨン市第 5 区 Sœurs Bouvier 通りで、壁に落書きをしていた 4 人の若者がパトロールしていた警察に逮捕された。

4 月 26 日、Brindas 市 Georges Charpak 中学の壁に、スプレーペンキでハーケンクロイツやケルト十字などの落書きをしていた 15 歳から 16 歳の少年 5 人が、警察に逮捕された。

⑥ テロなどに関する一般治安情報 特になし

5. 今月の出来事

新シューマン橋、今年 9 月から通行可能に

4 月 10 日、リヨン市北部ソーヌ河を渡る、Gillet 河岸通りと Vaise 地区をつなぐ新しい橋、Pont Schuman の工事が本格的に進み、その姿を公開した。全長 180 m になるこの橋は、4 車線、広い歩道と自転車道があり、中央部分には展望場が両側に設けられるために、その幅は約 30 m にもなる。通行できるようになるのは今年 9 月の予定。

Villeurbanne 市でも監視カメラ設置開始

Villeurbanne 市では今回初めて、市内に監視カメラを設置することになった。Gratte-Ciel 地区のスポーツセンター駐車場と Etienne-Gagnaire 水泳プール駐車場に合計 6 台のカメラが 5 月に設置される。この地域では以前から車上狙いや喧嘩騒ぎが多発しているため、その効果が期待される。

新型スピード違反取締レーダー装置

イースターのバカンス、度重なる連休、そして夏のバカンスにかけて運転する機会が増える季節だが、街角に次々に設置されるスピード違反取締レーダーに加えて、最近では覆面パトカーのナンバープレート部分にカメラが仕掛けられている新しいレーダー装置 ETM (Equippement de terrain mobile) が昨年からの登場し、アキテーヌ地方の環状線などですでに取締がされているとのこと。このレーダーは、予告もなければフラッシュもなく、ある日突然自宅に違反切符を受け取る。覆面パトカーの正面と横を通り過ぎる際に感知し、パトカーが止まっても移動していても時速 20 キロ以上であれば速度を測るとのこと。運転速度を常に厳守して走っていれば、心配する必要はない。

リヨン空港へのシャトル電車 RHONEXPRESS の始発便が早まる

5 月 1 日より、リヨン・サンテクジュペリ空港へのシャトル電車 RHONEXPRESS の Part-Dieu 駅からの始発時間が早まり、午前 4 時 25 分となる。格安航空会社便の出発が早いために、県議会会長からの要求でこの変更となった。8 月 31 日までこの新時刻表での試みが継続される予定。2011 年から、この RHONEXPRESS の利用率は 13% の増加を遂げている。